

「少人数に対し質問を繰り返す講義形態は有効か」に関する研究のお知らせ

帝京大学ちば総合医療センターでは以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2021年4月20日～2021年6月末日

〔研究課題〕

少人数に対しシナリオに沿って質問を繰り返す講義形態は有効か

〔研究目的〕

少人数の学生に対して、シナリオに沿った質問を繰り返すという講義形態が、講義内容の理解度に変化をもたらすか否かを検討します。

〔研究意義〕

少人数の学生に対して、シナリオに沿った質問を繰り返すという講義形態の有効性を検討します。

〔対象・研究方法〕

2020年10月12日～2020年12月14日の間に帝京大学ちば総合医療センター救命救急センターで行った本学4年次学生6～7名に対する講義の中で、質問を繰り返し、学生の反応や回答をみながら講義を進める手法を実施しました。外傷初期診療研修コースから引用したシナリオに則って、質問を構成しました。調査は講義の一環として行い、調査が完了した後で既存のデータを用いる研究として行います。

〔研究機関名〕 帝京大学ちば総合医療センター 救命救急センター

〔個人情報の取り扱い〕

データの使用を希望しない学生はいつでも帝京大学ちば総合医療センター救命救急センター医局を通じて申請者と連絡を取り、参加を撤回することが可能です。参加の撤回は成績に影響しません。収集したデータは、発表後10年間の保管とし、その後、廃棄します。

対象となる医学生で、ご自身の回答などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までメールにてご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：志賀英敏 救急集中治療センター教授

研究分担者：森脇龍太郎 救命救急センター特任教授、田中博之 客員教授

所属：帝京大学ちば総合医療センター

住所：千葉県市原市姉崎 3426-3 TEL: 0436-62-1211 (代表) [内線 3320]

*: 田中博之 E-mail アドレス: er_no_1_tanaka@yahoo.co.jp